

令和5年度第1回長浜市地域公共交通会議 会議録

日時 令和5年6月30日(金) 9:45~11:40

場所 長浜市役所本庁舎3階 3-Bコミュニティルーム

出席者
出席：轟会長、江畑委員、田中委員、福島委員、田村委員、藤田委員、朝日委員、角川委員、野村委員、糸委員、北村委員、木下委員、喜田委員、辰野委員、北川奈央委員、服部委員
(以上16人)
欠席：鴻野委員、谷川委員、清水委員、松尾委員、野口委員、脇坂委員
(以上6人)
傍聴者：5名
事務局：都市建設部 嶋田部長、都市計画課 益田課長
交通対策室 岸田室長、隼瀬係長、福井主事

【司会：岸田室長、説明：岸田室長、隼瀬係長】

■会議録

1 開会

会議成立の報告

あいさつ 轟会長(内容省略)

2 報告事項

(1) 令和4年度の長浜市内地域公共交通の運行実績について

(2) 令和4年度公共交通利用促進事業の実績について

(3) 令和4年度長浜市生活交通改善事業計画に基づく事業の評価について

【事務局】

資料に基づき説明(内容省略)

【会長】

ご意見、ご質問があればお願いします。

【会長】

報告事項1の運行実績について、令和4年度以前の経年の変化はどのようになっているのか。

【事務局】

参考資料の13ページの下段に平成29年度からの実績を掲載している。なお、収支率は、前年度に比べ令和4年度は増加しており、利用者数については、バスはやや増加しているものの乗合タクシーについては横ばいとなっている。

【会長】

コロナ後の動きやコロナ関連の補助も影響してくると思うので、諸状況を踏まえながら計画に反映させていただきたい。

(4) 長浜市地域公共交通計画にかかる令和4年度の実績報告について

【事務局】

資料に基づき説明(内容省略)

【会長】

ご意見、ご質問があればお願いします。

【会長】

特にないようなので報告事項は以上とする。

3 協議事項

(1) 長浜市地域公共交通計画の基本方針、目標、数値指標等について

【事務局】

資料に基づき説明（内容省略）

【会長】

ご意見、ご質問があればお願いします。

【委員】

関係主体の役割を明記していただいております。その中の市民の役割の中で「公共交通を選択肢に入れた日常生活を送る」とあるが、県が進めている滋賀地域交通ビジョンの方針にも合致している。選択肢に入れるという考え方は非常に重要であり共感する部分である。そのうえで、選択肢に入れていただくために、どのような公共交通水準やサービスレベルを確保するかを考えていかななくてはならない。長浜市は同じ市内でも南部と北部では公共交通の状況が違っており、それぞれの地域で選択肢に入れていただけるような施策や、それぞれの地域での目標指標などあればお聞かせ願いたい。

【事務局】

公共交通を選択肢に入れてもらうための取組はこれから計画を策定していく中で考えていくが、県の交通ビジョンでは、最低水準が30分に1本、望ましいのは20分に1本と示されており、バスをその水準にもっていこうとするとその分経費もかかってくる。バスは朝夕の利用が多く昼間の利用が少ないという状況をうまく活用して、昼間は観光地を巡るような路線の再編、国で要件緩和がされている貨客混載など複層的な施策が打てないか検討していきたい。地域ごとの指標については人口密度の高いところと低いところで同じような取組をするのではなく、地域特性に応じた取組ができないと考えており、また皆さまからもアイデアをいただきたい。

【委員】

県で行ったアンケートで、バスに限らず何らかの公共交通が15～20分に1本走ることが理想だとの結果が出ており、長浜市は乗合タクシーが30分ごとに発車しており、市民のニーズに応えられているのではないかと思う。地域特性に応じてどのような取組をしていくか、県も市と一緒に考えていきたい。

【委員】

コロナが収束した中、物価高で10%近く経費が上がってきている。コロナ収束により利用者は戻りつつあり、一見収支率が改善できたようには見えるが、当分の間は費用はかかっても利用者を減らさない取組が必要。行政はあらゆる地域をカバーしようとするが、地域を絞ってバスを走らせることにより、便数が増え利便性が高まる。人口集積されているところの利便性を高め、広域的な移動サービスとの違いを明確にする必要がある。自治体のまちづくりと一体となって路線を再編し、公共交通を維持していくことが大切。また、県内でも南の方は9割近く交通系ICカードを利用されており、公共交通を利用しやすいツールを取り入れていくことも必要。

【会長】

キャッシュレスサービスは市民もさることながら、観光客にとってはありがたいサービスである。観光客の視点に立ち、ロケーションシステムの導入や時刻表、乗り継ぎなどとも連動し、新しい仕組みを活用しながら併存できていけるといい。

【委員】

地域の抱える様々な課題と公共交通をどのように持続可能なものにしていくか、この間の乖離が非常に大きいと考えている。免許返納者など車を運転しない方は自分たちの足をどうにか確保してほしいと願うが、そこを充足させようとするとうバス事業者の経営は成り立たない。あれもこれもやるのではなく何に力を入れていくのか、もっと議論する必要があると考える。また、公共交通が昼間の観光客利用に対応できるかという、利便性の面でむずかしいのではないかと。路線バスの役割はどちらかという移動手段をもたない方のための交通手段であると考えている。

【委員】

観光客のバス利用についてだが、昼間米原から北のJRの本数は1時間に1本という状況で観光客を30分に1本の路線バスに乗せるということがまず難しいのではないかと。観光客の2次交通をいかに充足させるかは公共交通の1つの課題であるが、市民の生活を支える2次交通の役割とはまったく別物として考えなくてはいけない。市民を守るのか観光客を守るのか、方向性をまず決めてから進めるべきであるとする。

【委員】

現状、長浜市の中で公共交通がそこまでの役割を担うのは大変難しい。

【委員】

乗合タクシーは利用の推進を求めれば求めるほど市の財政負担が増えるため、市民にもある程度の不便をしてもらうのも必要ではないかと思う。財政的な負担を市民にも理解していただいたうえで、乗合タクシーを何人かで乗ることによって財政負担を抑えていく、それが最終的には持続可能な公共交通につながるのではないかと。

【委員】

アンケート結果を見ると、バスの利用は65歳以上で1週間に1～2回程度となっており、利用頻度が少ないのが現状となっている。65歳以上の方は時間的な余裕もあるので、市内各地で開催されるコンサート等のイベントにバスを利用してもらえると、心の余裕も出てくるし、バスの利用も増える相乗効果が期待できるのではないかと。その際に、バス利用者には何か特典などがあると更に効果的になると思う。

【委員】

私自身子育て中で、子どもの憧れであるバスやタクシーに乗せてあげたいと考える親は多く、昼間公園や健診にバスに乗って行くことで、子どもが公共交通に乗れる環境を育てるとともに、お母さん自身も公共交通に乗り慣れていくことを育てていけないのではないかと。子育て施策として連携するのも一つの手段で、昼間に公共交通の需要が少ないのであれば、違う目線から新たな利用者を創出してはどうか。

【会長】

福祉や観光など、他の部局とはどのように連携しようと考えておられるのか。

【事務局】

先ほどからの観光との連携ももちろんだが、福祉や教育など様々な部局と連携し、市全体を見渡し総合的に考えて策定していきたい。

【委員】

交通は様々な施策を実現していくためのあくまでツールであるので、そこを自治体が理解して検討していただかないと、縦割りの行政になってしまう。他部局と連携して、施策の中に反映していただきたい。

【委員】

身体しょうがい者の会合がある時に、小さくてもいいので車いすが乗るバスで市内を送迎してほしい。

【会長】

福祉有償運送やスクールバスなどバス・タクシー以外にも計画にあがってくるのか。

【事務局】

昨年度の調査の段階では、福祉有償運送やスクールバス、企業でいうと自動車学校の送迎

バスの現状は把握しているが、どのように連携していくかはこれから検討していく。

【委員】

タクシー会社で乗合タクシーなどの事業を担っており、県内14市町の公共交通会議に参加させていただいている中で今後の次のような懸念材料があることを知っていただきたい。

- ・ 利用者の利便性をどこまで追求するのか
- ・ 加速する運転手不足
- ・ デマンドの利用増加による駅前のタクシーの不在
- ・ 自治体間の交通の連携
- ・ 自動運転をどこまで見据えるのか
- ・ 福祉輸送や学童輸送との連携
- ・ 高齢者の外出支援
- ・ DXへの対応や免許返納
- ・ 脱炭素に向けたEV車両やUD車両の導入等

これら懸念材料をぜひとも計画中に盛り込んでいただきたい。

【委員】

交通だけで交通を考える時代ではなく、国としても「共創」として医療や介護、エネルギー、住宅、教育、農業などのニーズも踏まえて交通を考えていくことが大事であると考えている。それにあたって、国では、赤字支援より共に交通を考えていく動きの方に補助金を充てるメニューがたくさん出ているのでぜひ活用いただきたい。先ほど、貨客混載の話があったが、成功事例は少ないなか近畿管内で地域の方の意見を取り入れながら成功した事例もあるので申し出いただければ情報提供させていただく。

【会長】

いろいろな関係主体からお知恵をいただきながら、策定を進めていければと考えている。また引き続き、ご意見やアイデアなどいただければと思うのだが、私からも少し意見を述べさせていただく。まず、1つは事前協議や公共交通会議でのご意見や質問を一覧にしたQ&A表を作成いただきたい。この計画に反映できなくても、他の事業につながられるかもしれない。2つ目は、16ページの一覧などを見ると体系的に整理されているが、従前の網形成計画と今回と比較し、今回どこに力点を置いて取り組むか打ち出させていただくと、より議論が深まるのではないか。3つ目に数値目標や目標値についてだが、目標3、4あたりの数値指標の設定がすこしぼやけているので、何に力を入れるのかが見えてくるような目標を設定する方がいいのではないか。最後に、関係者に色々話を聞きながら進めていただいているところではあるが、福祉や通勤としての企業や通学として的高校など、関係するところに積極的にヒアリングを行ってほしい。また、皆さまからも事務局にご意見をお寄せいただきたい。

(2) 近江長岡線の幹線化に向けた取組について

【事務局】

資料に基づき説明（内容省略）

【会長】

ご意見、ご質問があればお願いします。

【会長】

特にないようなので、協議事項2は、原案どおりこれを承認することに異議はないか。
～異議なし～

【会長】

異議なしと認め、本件は協議が調ったものとする。

(3) 路線バスの利用者増加に向けた取組について

【事務局】

資料に基づき説明（内容省略）

【会長】

ご意見、ご質問があればお願いします。

【会長】

実証実験後も継続して実施していくのか。

【事務局】

効果検証したうえで、検討する。

【委員】

この実証実験に対するアンケート調査は実施されるのか

【事務局】

効果検証の中でアンケート調査を予定している。

【会長】

この取組についての結果も、会議で報告いただきたい。

【会長】

特にないようなので、協議事項3は、原案どおりこれを承認することに異議はないか。
～異議なし～

【会長】

異議なしと認め、本件は協議が調ったものとする。

(4) 自家用有償旅客運送（市町村運営有償旅客運送）の更新登録について

【事務局】

資料に基づき説明（内容省略）

【会長】

ご意見、ご質問があればお願いします。

【委員】

資料の中において「交通空白地輸送」となっているところは、正式には「交通空白地有償運送」であるので訂正いただきたい。

【事務局】

訂正する。

【会長】

この議題に直接関係するわけではないが、交通計画も含めて路線ごとや地域ごとの利用人数や収支率について、資料で数値としては出ているが、今後の方向性を棒グラフに線を引っ張るなり、色を変えるなり見える形にしていきたい。それを地元や企業、高校等にフィードバックし、公共交通を維持するために連携していく手立てを考えていけるといいのではないか。議題に戻るが、おでかけワゴンの利用状況はどのようになっているのか。

【事務局】

資料の29ページにあるとおり、利用人数は増えているが収支率は昨年度で9.4%と他の路線に比べると厳しいところである。ただ、おでかけワゴンは交通空白地で交通事業者の参入が見込めないということで導入しているものであり廃止は難しいが、会長がおっしゃられていたようにこのような状況であるということを経元にもフィードバックして考えていただき、利用につながるようにしていきたい。

【会長】

おでかけワゴンや乗合タクシーは、基本的に利用者が増えれば市の負担が増えていくのか。

【事務局】

乗合タクシーはそうだが、おでかけワゴンを含めたバスについては経費はほぼ固定であり、

利用者が増えれば市の負担は減ることになる。

【会長】

乗合タクシーは相乗り率が上がれば、市の負担は減るのか。

【事務局】

そのとおり。

【会長】

将来的には料金も合わせて持続できるか検討していかなければいけないが、その時には地元にも利用の状況や市の負担など現状を示し、そのうえでどうしていくのか地元と一緒に考えていくことが大切であると思うので、先ほどの話同様、示し方の検討をしていただきたい。

【会長】

特にないようなので、協議事項4は、原案どおりこれを承認することに異議はないか。

～異議なし～

【会長】

異議なしと認め、本件は協議が調ったものとする。

【会長】

協議事項は以上となるが、全体をとおして何かご意見やご質問はないか。

【委員】

来年度乗合タクシーの入札が控えている中で、現在は指名競争入札だが、是非ともプロポーザル方式での入札にしていだけるよう要望する。

【事務局】

ご意見として承る。

【委員】

報告事項1で、デマンドタクシーの実績について報告があり令和3年度と令和4年度の実績について示していただいたが、実績に大きな乖離があるところについては次回から説明いただきたい。

【事務局】

今回大きな乖離があった湖北の乗合タクシーについては、報告事項の説明の中でも簡単に説明はさせていただいたが、入札の結果によるものである。

4 その他

【事務局】

次回の会議については、9月下旬頃を予定しているが、また改めて連絡させていただく。

5 閉 会

(終了)